

平成31年度

主要事業

市総合計画に沿って
お知らせします。
新…新規事業

1 共に築き、次世代につなぐ

東浦事務所北庁舎整備事業 3980万円
老朽化している北庁舎を解体し、車庫兼倉庫を新築します。

津名集合庁舎（仮称）新築事業 4億6446万円
旧津名事務所跡地に、地域の核となる集合庁舎を新築します。



コミバス運行委託事業 3387万円
あわ神あわ姫バスを津名一宮地区まで延伸し、市民の移動手段を確保。金塊バスも運行します。



2 安全安心で快適に暮らす

防災行政無線デジタル化整備事業 6億1913万円
現行のアナログ方式からデジタル新方式に再整備します。

新火葬場整備事業 1億7422万円
市内4地区の火葬場を集約するための整備を進めます。

新 団体営ほ場整備事業（北淡路土地改良区） 2000万円
遊休農地を再整備し、企業が農業分野へ参入できる環境にします。

3 支え合い健やかに暮らす

乳幼児、子ども医療給付費無料化 1億6990万円
0歳～中学3年生までの無料化を引き続き実施します。

赤ちゃん未来の宝物事業（出産祝い金） 1300万円
第2子以降の出産時に、出産祝い金を支給します。

新 フツ化物洗口事業 34万円
市内の保育所・こども園の年長児に、虫歯予防を行います。

4 ふるさとを学び創り育てる

津名図書館新築事業 1億9135万円
しづかホール敷地内に移転・新築します。

学びイノベーション事業（タブレット活用教育） 5314万円
小学4年生から中学3年生まで、タブレット端末を授業で活用します。

新 ラグビーワールドカップ2019啓発等事業 3200万円
公認キャンプ地として、トレーニング環境の整備などを行います。

5 あふれる資源と活力

プレミアム付商品券事業 1億1371万円
商品券を販売し、地域経済の活性化につなげます。

新 サイクリング3大聖地デジタルスタンプラリー事業 負担金 100万円
琵琶湖やしまなみ海道と連携し、周遊スタンプラリーを実施します。

淡路ハーブフェスティバル 実行委員会補助金 500万円 新
6月1日、2日の全国ハーブサミットに向け、関係団体と連携して取り組みます。




市民1人当たりの予算額

65万1143円

一般会計予算額 286億3400万円
人口4万3975人(31年2月1日現在)

市の平成31年度の当初予算額を、市民1人当たり置き換えました。歳出額（支出する額）は65万1143円です。1人当たりの目的別の予算額は、次のとおりになります。

目的別の市民1人当たりの予算

民生費 17万3063円	公債費 10万7860円	総務費 8万2772円	土木費 6万4540円	衛生費 6万619円
教育費 4万9624円	農林水産業費 3万7007円	消防費 3万6571円	商工費 1万4047円	その他 2万5040円

会計予算一覧

区分	31年度予算額	30年度予算額	増減額	前年度比
一般会計	286億3400万円	292億7500万円	△6億4100万円	97.8%
特別会計	124億848万円	162億7863万円	△38億7015万円	76.2%
国民健康保険(事業勘定)	59億2800万円	58億6450万円	6350万円	101.1%
国民健康保険(直営診療施設勘定)	1億4350万円	1億3800万円	550万円	104.0%
後期高齢者医療	7億5250万円	7億2945万円	2305万円	103.2%
介護保険(保険事業勘定)	54億1470万円	53億9320万円	2150万円	100.4%
介護保険(サービス事業勘定)	1億1760万円	1億405万円	1355万円	113.0%
産地直売所事業	1603万円	1603万円	0円	100.0%
温泉事業	1095万円	315万円	780万円	347.6%
津名港ターミナル事業	2060万円	2095万円	△35万円	98.3%
住宅用地造成事業等	460万円	1260万円	△800万円	36.5%
農業集落排水事業	0円	2億2300万円	△2億2300万円	皆減
公共下水道事業	0円	37億7370万円	△37億7370万円	皆減
下水道事業会計	31億7595万円	0円	31億7595万円	皆増
予算総額	442億1843万円	455億5363万円	△13億3520万円	97.1%

※下水道事業会計は、収益的支出－減価償却費＋資本的支出